

タイトル	サイコロと運命
ポーランド語のタイトル	Kości i Los
テーマ *	c
名前	ミハウ・マチコウィアク
ポーランド語の名前	Michał Maćkowiak
学校名 * 2	ヤギェロン大学
学年	2年
日本滞在歴	なし

* a. 異文化理解 b. 現代の諸問題 c. 私の大切なもの d. 私からの未来へのメッセージから選択

私は毎朝サイコロを一回振ります。

この習慣はゲームではなく、自分の新しい一日を左右する勝負の第一歩だと信じています。

このサイコロは小さい時からよく一緒にボードゲームをしていた親友からもらったものです。その親友は20面ダイスで桜の模様のこのサイコロを店で見かけ、日本学科に入った私のことを思っ買ってくれたと言いました。だから、いい使い方をしたいと思ったのです。

数週間たっても適当な使い方を見つけられなかったけれど、このサイコロが目に入るとつい手に取って転がしていました。

始めは、全然意味がなかったんですが、毎日サイコロを振っていると、ここに何かの意味を見出しくなりました。

しばらくして、ようやくいい使い方を思いつきました。それはこのサイコロを占いの道具として使うことです。毎朝サイコロを振るのはその日一日についての占いです。出た数字は不運または幸運の前兆です。占いの方法はこうです。大きい数字が出ると幸運の前兆、小さい数字が出ると不運の前兆と考えます。占いの道具という以外にも、サイコロを振って出た数字を見た時の精神的な影響にも大事な役割があります。

正直言って占いで未来がわかるなんてことは信じていません。

大きい数字が出た日にはちょっとだけニヤっとしますが、たいてい何も特別なことは起こりません。一方で、小さい数字が出た日のほうが面白いです。そんな日には最初にお話した私の勝負が始まります。サイコロ占いでは小さい数字の日は運気が悪くなるはずですが、私はその運命が避けられないものとは思っていません。全くその反対でいつも小さい数字が出た日には、神経を研ぎ澄ませて普段は気づかないような小さないいことを探して楽しめます。

そんな習慣のおかげでバス停で浴びる明るい日の光とか、頬に当たるひんやりした雨のしずくとか、おいしい食事とか、友達との楽しい語らいとか、充実した授業などに目が向きます。いいことというのは探せばどこにでもあるものだと思うようになりました。サイコロのおかげです。

時々サイコロが出す小さい数字のせいで不安にさせられますが、これに負けるまいと自分なりに挑んできたことで、毎日を少しでも良くしようと頑張ることができました。他人から見ればただのサイコロなんですけど。私にとってはとても大切なものになりました。

Streszczenie (60-70 słów)

Wierzę, że nawet najbardziej niepozorny przedmiot, jeśli nadać mu odpowiednie znaczenie, może wpłynąć na nasze życie. Chciałbym podzielić się historią o tym, jak prezent otrzymany od przyjaciela wyrobił we mnie nawyk, który przywrócił kolor niedawno jeszcze wyblakłej codzienności. Nauczyłem się dzięki niemu przełamywać miałość i monotonię dnia codziennego poprzez odnajdowanie drobnych źródeł radości.

Kto by pomyślał, że tak wiele można zawdzięczać kostce do gry.